



議会中継システムが整備された3月議会（本会議）風景 右手前にモニター 中央奥上部にカメラ

# としま

## 議会だより

**No.49** 平成22年5月発行

発行／鹿児島県十島村議会

〒892-0822

鹿児島県鹿児島市泉町14番15号

TEL 099-222-2101

FAX 099-223-6720

## = 22年3月定例議会 =

3月11日～19日（9日間）

45案件を審議

### 一般質問

人口問題について

平成22年度一般会計予算は、26億2739万円

21年度比4億8239万円の減（▲15%）

条例の制定・改正 13件

指定管理者の指定 5件

契約締結 3件

補正予算 7件

一般会計は、5億3969万円を増額

船舶特会は、3188万円を増額

○永田議員 少子高齢化、過疎化が進む中、本村における人口の減少問題が深刻化している現状について、どの様に認識しているか。

○敷根村長 平成21年12月末の住基人口は620名で、推計よりも20人減少している現状である。本村高齢化率も約37%で、50%を超える地域も一部ある。人口動態がそのまま続いていくと健全な地域社会を維持するための地域での支えあい等が困難になるなど、本村にとって大きな試練に直面するのではないかと大変危惧している。

○永田議員 これまでの人口増対策について、行政としてどの様な問題点を見出し、改善してきたのか。また、改善していこうとしているのか。



永田和彦 議員

○敷根村長 定住促進対策、節目助成金交付、産業資金貸付制度等対策を実施してきた。人口減少を食い止めることは至難の業であるが、観光産業振興、交流人口の増加等重要対策を講じたい。

○永田議員 U、Iターン者の受け入れ態勢と今後の課題について、どの様に村の施策に反映させていくのか。

○敷根村長 村民室を中心に地域振興室、政策推進室等がチームを組んで対応している。今後、情報発信や生活相談等に迅速に対応し、住宅の確保や地域活性化を進め、地域風土等PRに努めたい。

○永田議員 ブロードバンドを活用しての人口対策について、具体的に計画していることがあるのか。または、どの様に活用しているか。

○敷根村長 具体的な計画は今のところはない。本村の魅力としてブロードバンドがあり、今後、地域情報格差を縮めるものとなり、活性化につながるよう、様々な施策を検討していきたい。

条例制定・改正

条例制定・改正

- 十島開発総合センターの設置及び管理に関する条例の制定 指定管理者制度導入に伴う
- 十島村歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の制定 指定管理者制度導入に伴う
- 十島村天文台の設置及び管理に関する条例の制定 指定管理者制度導入に伴う
- 十島村総合運動公園の設置及び管理に関する条例の制定 指定管理者制度導入に伴う
- 十島村大型洗濯施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 地籍調査の地番確定に伴う所在地変更
- 十島村議会議員等の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 獣医師の月額報酬の見直し
- 十島村乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正 課税世帯3,000円の控除を廃止
- 十島村コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正 中之島地区コミュニティーセンターの設置に伴う
- 十島村観光レクリエーション施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 悪石島荷積岬 指定管理制度廃止に伴う
- 十島村生活改善施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 中之島施設の移転に伴う所在地変更
- 十島村村長等の給料等の特例に関する条例の制定

平成22年4月1日から平成24年5月15日までの間、村長等の給与月額を減額するというものです。

村長 15%減額 副村長 10%減額 教育長 10%減額

- 十島村火災予防条例の一部改正 住宅用防災警報器の設置期限の改正
- 十島村畜産施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 宝島畜産機械格納庫を追加

## 一般会計当初予算は、26億2739万円 前年度比4億8239万3千円の減(▲15.4%)

### = 地域イントラ整備の終了による減 =

22年度の全会計の予算総額は3,637,275千円で、前年度に比較して466,304千円の減少(▲11.3%)となり4年振りに前年度を下回る予算編成となった。一般会計についても15.4%の減となり、4年振りに前年度を下回る予算編成となっている。減少の大きな要因は、地域イントラネット基盤施設整備事業の終了によるものである。

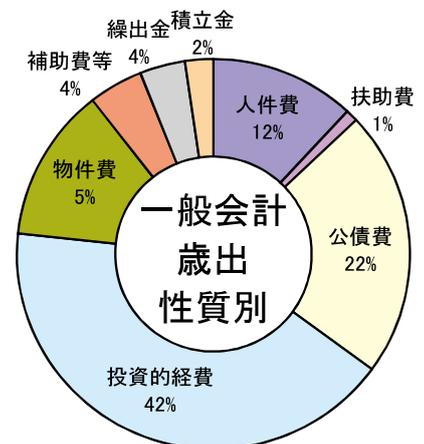
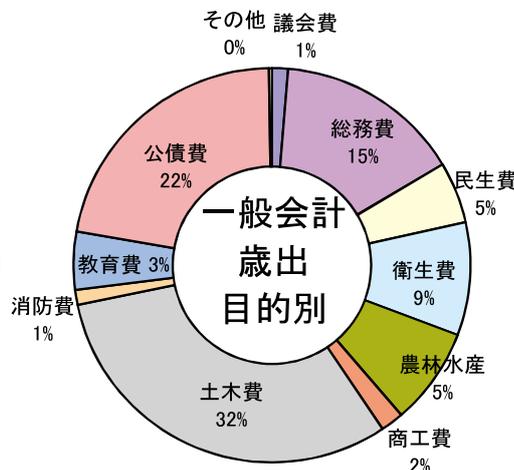
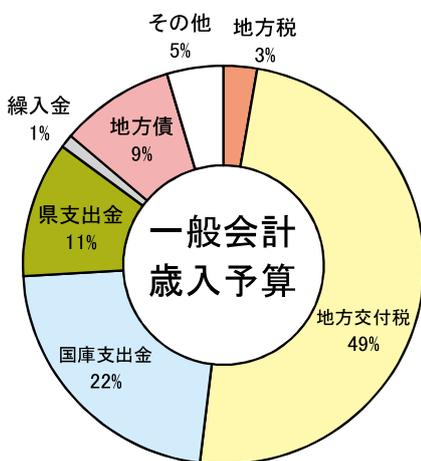
会計名	20年度	21年度	22年度	前年度比較(22-21)	
				増減額	増減率
一般会計	2,894,131	3,109,789	2,627,396	△ 482,393	△ 15.4 %
国民健康保険特別会計	87,214	87,436	83,577	△ 3,859	△ 4.3 %
老人保健医療特別会計	16,201	854	240	△ 614	△ 71.8 %
船舶交通特別会計	885,913	773,311	790,322	17,011	2.2 %
介護保険特別会計(事業勘定)	68,722	79,809	82,340	2,531	3.2 %
介護保険特別会計(サービス勘定)	1,389	1,388	1,462	74	5.3 %
簡易水道特別会計	37,198	43,142	43,941	799	1.9 %
後期高齢者医療特別会計	7,770	7,850	7,997	147	1.9 %

#### <一般会計>

**歳入** : 予算規模は約15%減。構成比率は地方交付税が8%、県支出金が4%、地方税が1%増。国庫支出金が9%、地方債が3%、繰入金が2%減少。

**歳出(目的別)**: 構成比は、地域イントラ整備終了で総務費が11%大幅減。土木費は4%増、民生費、衛生費は2%の増。

**歳出(性質別)**: 構成比は、投資的経費が6%、物件費が4%減少。



## 〈総務課〉

**問** 十島会館の代替宿泊施設利用について

**答** 6 か所ほどの宿泊施設があるが、住民にはかなりの利用頻度がある。住民が利用しやすいというところで、行政効果がかかり生まれていない。長期的な継続となると宿泊協定料金の引下げ等検討が必要である。

**問** 職員の民間委託の考えは？

**答** 昨年の12月11日から民間委託を実施し、派遣職員を3名入れている。経費が約900万近くかかっている。行政能力は高いが、今の職員の業務軽減が目に見えてあるわけではない。その分、別の業務を抱えることになるので、軽減されないように思う。

**問** ななしの指定管理は団体系か？

**答** 団体であれば、法人でなくても構わない。数人規模の任意団体系で問題無い。

**問** 課の統廃合の効果は？見直しの時期は？

**答** 業務量の負担を分散して軽減して縦横の連携をしやすくスリム化する。室長職をおきそれぞれ管理してもらおうようにする。管理職の数を減らして人件費の軽減をする。この3つの観点から統廃合を進めた。最初の目標に到達していない面もある。経済課の負担が大きい。村の行革大綱実施計画の中で、22年度中に室長職の範囲でその議論をしたいと考え進めている。

**問** ふるさと納税について、使途指定の寄付者もいる。村として方向性を示す必要があるのでは？

**答** 何らかの形で目的のあるものに使いたい。21年度すすめたが、財源を使えなかった。寄付者は目的のあるものとして寄付してきている。22年度中に方向、財源を求めたい。ふるさと委員会の中でも財源があてられれば充てたい。

## 〈住民課〉

**問** 小規模多機能事業サービスについて

**答** 施設との違いは、自分の地域での生活が維持されることが大きな違いである。ホームヘルパーの訪問と、利用者に来てもらい2時間から4時間の通いで運動、食事、お風呂の機能と、夜間宿泊の機能の3つの機能を兼ね備えている。かつ、今まで住み慣れた地域での生活が、断絶されない形でのケアとなる。22年度、モデル事業として、宝島で通いのケアから始めてホームヘルパーも利用者の状況に応じて。地域での話し合いで、高齢者の生活支援をしていかなければいけないという話があるので、具体的な案として、とからいきき教室を月1回実施している。それだけでは不十分なので、集える場があるようにしてほしいという意見がある。集える場の一つとして、この小規模多機能の通いと言う部分をもつていけると思っている。

**問** 農業委員会の農地拡充事業について

**答** 本村では農地台帳が整備されていない。農地の減少をくい止め、確保すること、貸しやすく借りやすくすること、効率的に利用するために農家台帳を整備する。

**問** 認定農業者制度の素案は？

**答** 県が制度を定めて、市町村が基準を設ける。認定されるといういろいろな支援策がある。県にも作業工程等相談していた。先日説明会があり、今回、県が全面的に制度を改正することになった。要綱は県が示す。それをまっぴら村にあるように、どういった基準にするか、振興局とつめて策定したい。

**問** 農産物の出荷運賃助成について

**答** びわのみの実績である。毎年5万円程度の助成をしている。22年度は倍額計上している。周知をしたい。

**問 NPO法人トカライインターフェイスとの委託業務について**

**答** 観光物産宣伝対策、島興し人材育成事業等3事業がNPOに委託されており、NPOと協議しながら進めている。村で事業計画を作り、NPOにはそれに基づいて事業を進めてもらう。特産品関係については、販売の面で役に立っており、それなりに効果は上がっている。NPOの活動の方法、住民との接し方について、何回か代表理事とも説明が不足しているなど助言をしている。その点気をつけながら連携をしていきたい。状況は、要所で報告をもらっている。帳簿等も確認している。今後も報告はさせるようにしたい。

**問 島内雇用について**

**答** 悪石島の旧林道作業などすでに21年度から雇用している。出張員が使役の管理人で、参加者を把握する。島での周知の徹底が懸念される。22年度からは担当課長・職員が前もって周知を努めていく。

## 〈教育委員会〉

**問 22年度の山海留学の見込み数は？親子留学の件数は？**

**答** 前年度並みの15、16名を見込んでいる。親子留学は以前、宝島で1組あったが、現在は無い。

**問 道路脇に花を植える等の観光促進に繋がる花いっぱい運動は？**

**答** 道端の植栽から学校の花いっぱい運動に変わった経緯がある。設計に組み込むことができるかなど経済課と協議して実践できるように対応したい。

**問 県がALT派遣事業を取止めたと聞いたが、村の対応は？**

**答** 22年度は、県の計らいで1年延長してもらえらることとなった。将来的なことも想定して民間派遣も検討していきたい。

**問 日報報酬給食調理員の退職報奨金は？**

**答** 3年を超える者については、支給される。

## 〈特別会計〉

**問 いきいき教室の運営スタッフの育成・若年層への移行について**

**答** 参加者は概ね65歳以上で積極的に活動している。無関心層に対する働きかけは、行政だけでは難しいので、自治会や地域にも働きかけていきたい。

**問 船舶建造について**

**答** 定期検査は5年に一回行う。現在3回目の定期検査を受けているが、建造後から20年以上経過すると、検査が厳しくなる。それを考えると、今から7、8年後には建造となり、その間に、方針や今後の需要予測をみながら、新船は造るべきではないかと考えている。

**問 障害者用のベッドが少ない。サロンを活用しては？**

**答** サロンを客席に改造するとなると検査の対象となる。指定席の1部屋スペースを4席潰して改造した場合はいくらぐらいかかるのか、有効利用ということ、改善していきたい。

**問 介護サービス助成事業によるホームヘルパー資格取得について**

**答** 公費負担でかなりの資格取得者がいると思われる。資格取得後の活動をしていない人もいる。今後も村の要請に伴い公費負担の中で助成もあり得るので、それを参考にしながら今後の展開を進めていきたい。

**問 簡易水道会計の一般会計からの繰入金について**

**答** 明確に1千万円以内と決めた基準はなく、極力一般会計からの繰入れは避けてほしい。水道関係の未整備部分もあることから基幹改良あたりにも制限がでてしまうので、難しい判断を強いられている。

**問 後期高齢者医療特別会計の今後について**

**答** 保険の一元化をするようである。国保等の制度に高齢者が入ってくる。25年度に新しい制度がスタートすると聞いている。

# その他の主な議案

## 教育委員会委員に 悪石島 坂元勇氏

### 専決処分の承認

- 「フェリーとしま」定期検査工事及び一般工事変更契約締結 契約金額=7465万5千円

### 契約締結

- 十島村地域イントラネット基盤施設整備工事請負変更契約 契約金額=4億9140万円
- 十島村地域情報通信基盤施設整備工事請負契約 契約金額=1億7902万5千円
- 動産の買入れ(学校情報通信技術環境整備 テレビ/周辺機器) 契約金額=1123万2千円

### 指定管理者の指定

- 十島開発総合センター → 指定管理者:NPO 法人トカラインターフェイス
- 歴史館・天文台・総合運動公園・トラ馬高尾牧場 → 指定管理者:NPO 法人トカラインターフェイス
- 中之島大型洗濯施設 → 指定管理者:NPO 法人トカラインターフェイス
- 中之島東区住民センター → 指定管理者:中之島東区 区長 大野正己
- 宝島畜産機械格納庫 → 指定管理者:宝島畜産組合 組合長 松下征克

### 発議

- 十島村議会議員の報酬等の特例に関する条例の制定

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間、村議会議員の報酬月額を減額するというものです。

議員(12%減額)

関係機関に意見書を提出しました  
・平成22年度離島振興事業の推進に関する意見書

# 議会中継システム

議会中継システムが整備されました

- ・ライブ中継の概要：カメラで撮影された議会の様子を各島で生放送。
- ・生放送：行われている議会を1回限り放送。放送先は各島施設TVのみ（図参照）



**編集後記**

いよいよ6月議会から議会のライブ中継が各島コミセン等7か所で視聴できます。ぜひ、足をお運び下さい。

議長 日高通

議会広報調査特別委員会

委員長 永田和彦  
副委員長 平泉二太

委員 有川和則  
委員 前田功一  
委員 用澤満男  
委員 平田傳義  
委員 日高助廣

議会事務局

マイク・スピーカー

カメラ

システム機器

①マイク操作画面  
②カメラ操作画面  
③放送映像確認画面

モニター